

山行報告書

山行管理部

5月公開山行 天ヶ岳 5月28日

CL 松本 SL 田中、早川 参加18名(一般1名)

鞍馬駅 9:26—山門駅—薬王坂 10:00—戸谷峰 10:53—天ヶ岳 12:15

—寂光院 14:50

叡山鉄道鞍馬駅から出て天狗の面のオブジェを左手に見ながら直進、すぐ左に曲がり山門駅を右に30mほど進むと駐車場過ぎた辺りを右に登山口案内無し。そのまま進むと階段を上がると左に寺があり、そこを右が登山口。登りはじめより急登、250m先の薬王坂分岐を北に尾根沿いをアップダウンしながら戸谷峰。ようやく天ヶ岳へ展望なし。天ヶ岳より北に林道を歩くと右と左に林道分岐で正面に、かすかに道が有り見つけにくいので注意。尾根を上がり鋭角に曲がると登山道あり右手に案内あり。そのまま南に進み寂光院へ下山。シャクナゲが時季からずれており見れなくて残念である。

(松本 記)

サロン 長岡京を巡る 6月3日 CL 坂上・SL 上坂 参加12名

阪急長岡天神駅 10:40…10:51 八条ヶ池 10:57…11:14 長岡天満宮 11:24…

(丹波街道) …西山天王寺駅 11:53…(サントリー通り) …12:13 恵解山古墳

(昼食) 12:45…13:05 勝龍寺…13:17 勝龍寺城(公園) 14:18

…14:27 神足神社…(ガラシャ通り) …14:45 JR 長岡京駅。

『おもてなしマップ』や、CLのSさんが入念に調べて作成してくださった『史跡などの説明』を片手に、また、名所々では、Sさんがプロなみのガイドで案内してくださり、歴史に育まれた景観の「長岡京」を十分に満喫でき、とても勉強になりました。

Sさん、皆さんありがとうございました。(上坂 記)

クリーンハイク 高安山 6月4日 CL 園 参加4名

近鉄信貴山駅(集合)～立石越え～生駒スカイライン～ケーブル高安

山駅前展望台(昼食)全体集会～信貴越えコース下山～信貴山駅

信貴山駅前に主管の八尾山の会13名、ハイキングクラブハイジ4名、きたろうハイキングクラブ4名の3クラブとHPと八尾市報をご覧になった一般参加者4名、計25名が集合。

駅前で全国連盟自然保護委員会のクリーンハイクアピールの紹介、八尾市長からのメッセージの紹介後、八尾市から借りた鎌、ごみハサミを受け取り恩智越え、と立石越えの2コースに分かれて出発する。きたろうは八尾の仲間、一般参加の方と立石ルートへ。

立石ルートは入山される方が少ないので荒れているという情報だったが、梅雨に入り少しヤブ状態程度、鎌が役立ちコースを広げる事ができた。投棄ごみは目を凝らさないと見つけられないような場所にチラホラ有る程度、ハイカーのごみ持ち帰りマナーが広がっている事に安心した。13時に恩智越え組と合流し、昼食後全員で自己紹介。一般の方のこの行事に参加して良かった。こんな活動を続けている事でごみが減っているんですねなどの感想が嬉しかったです。下山は全員で信貴越えコースを辿り、ケーブル信貴山口駅近くの集積所で計量。可燃ごみ5.5kg、不燃ごみ1.5kgでした。来年はもっと少ない事を願って解散しました。そのあと八尾の方と反省会で交流を深めた事は言うまでもありません。

(園 記)

ウィークデイ 柳生から笠置へ 6月7日

CL 五十嵐 SL杉谷 参加者9名
近鉄奈良駅バス停(9:19)～柳生バス停(10:10)～報徳寺(10:40)～
一刀石(11:00)～天之立石神社～旧柳生陣屋跡(11:30 昼食 12:10 出)～
旧柳生藩家老屋敷～十兵衛杉～阿対の石仏(12:50)～笠置寺山内めぐり～
JR 笠置駅(15:15 着) 解散

奈良駅前より1時間弱のバスで柳生の里へ もみじ橋をわたり柳生家の菩提寺芳徳寺、正木坂道場に着く。山道をたどり天之立石神社、一刀石へ 7メートル四方の巨石が中央で見事に割れている。柳生石舟斎が修行中にこの地で天狗と試合をし、天狗を切ったつもりがその場合にあった巨石が二つに割れていたとか？ 現在は鬼滅の刃で騒がれているとか？

旧柳生藩陣屋跡にて昼食をとり旧柳生藩家老屋敷跡、十兵衛杉、阿対の石仏をめぐり笠置寺へ 山内巡りはりっぱな磨崖仏、胎内くぐり、太鼓岩、ゆるぎ石、など巨石の見どころいっぱい。秋にはモミジも楽しめそう。

久しぶりの山里歩きで心洗われる一日でした。

(杉谷 記)



土曜山行・ターブル合同山行「扇の山・蘇武岳」報告書

実施日 令和5年6月10日(土)～6月11日(日) 天候は曇り

C L湯浅(行程) S L重岡(会計) 黄(行程) 稲田(記録) 参加者合計18名

昨年 土曜山行部、ターブル部の令和5年度年間計画を作成するに当り湯浅部長(当時)より合同山行再開のご提案を頂き快諾、実施月を令和5年6月、山域は「扇の山・蘇武岳」として重岡さん、黄さんにスタッフとしてご参加頂きライングループを立上げスタッフ全員にて役割分担を決め情報を共有しつつ、山行計画案を作成、宿や交通機関の手配を進めました。会報・HP掲載用の「山行案内文章」を作成し4月15日 運営委員会(山行管理部・会報部・HP)へメールにて提出、参加申込期間は4月28日～5月12日とし担当者含め18名の参加となりました。山行実施3日前の6月7日に参加者受付用紙、緊急連絡先を含んだ参加者名簿を運営委員会に提出しました。

6月10日(土) 扇の山 標高1,310m 天候は曇り ほぼ無風

姫路コース登山口10時35分⇒扇の山山頂11時47分着(昼食)⇒大ヅッコ⇒小ヅッコ⇒河合谷コース登山口着13時54分着 距離4.9km 歩行時間約3時間30分
登り始めは急勾配であったが扇の山山頂より河合谷登山口までは新緑が素晴らしい、大峯でも見た事が無いような広大なブナ林でのんびり楽しく歩く事が出来ました。

6月11日(日) 蘇武岳 標高1,074m 天候は曇り 山頂直下少し風有り

蘇武岳・大杉山万場登山口8時50分⇒蘇武岳山頂11時25分着(昼食)⇒大杉山13時10分⇒万場登山口14時37分着 距離9.4km 歩行時間約5時間50分
素晴らしい山行でした! 原始の面影を留めた神秘的な巨樹の谷、原生のブナ林の中の登山道、山頂からの展望、そして何よりも素晴らしい山仲間感謝でした。



(稲田理 記)